

長野県・東北信標準 低血糖・シックディマニュアル 使用説明書

作成の経緯

私たちは長野県佐久地域で糖尿病地域連携クリニカルパスを作成中に、各施設で低血糖やシックディの対応や指導が異なっていることに気付いた。例えばシックディの際に、インスリン注射を食前に行うように指導している施設と食後に行うように指導している施設がほぼ同数だったり、低血糖のマニュアルがないため低血糖時は必ず医師に連絡するなど、その対処方法は各施設どころか、一つの施設内でもまちまちであった。

連携パスを行ってく上で、指導方法が異なると、患者さんに不安を与え連携が上手くいかなくなると考え、私たちは2007年・第9回長野県東信地区糖尿病スタッフ研究会において、低血糖・シックディをテーマにワークショップ形式の研究会を開催した。その研究会の成果をもとに、2008年・第51回日本糖尿病学会・学術集会において、「地域連携パスでの使用を目的とした低血糖・シックディの指導ツールの作成」として、前バージョンの「低血糖・シックディマニュアル」を発表した。さらに、2008年4月に発足した長野県の東北信 L-CDE 育成会において承認され、前バージョンは、東北信共通の「低血糖・シックディマニュアル」として使用を開始することになった。

2009年にインクレチン関連薬が世の中に登場し、この「低血糖・シックディマニュアル」は改訂を余儀なくされ、2011年より改訂作業に入り、何とか完成させて、2012年第55回日本糖尿病学会で発表した。十分な検討を行えないまま発表に至ってしまい、関係者には大変申し訳なく思っている。今後も必要に応じて改訂作業を進めていく所存ですので、皆さまの御意見・御要望をお願いしたい。

低血糖・シックディの問題点

学会発表の際に、低血糖・シックディについて現時点での問題点をまとめた。

- ①インクレチン関連薬使用中の低血糖・シックディの対応について、十分なコンセンサスが得られていない。
- ②特に、GLP-1 製剤は高頻度で胃腸障害をおこすため、SU 薬併用中は十分に注意が必要である。
- ③インクレチン関連薬における急性膵炎の合併について、十分な安全性が得られていない。
- ④多剤併用、後発医薬品処方が増え、治療が複雑になり、統一した指導がしにくい。

インクレチン関連薬単独での低血糖は「インクレチン関連薬は軽症の低血糖を起こしうるが、重篤なものは生じない」と考えてマニュアルを作成した。

一方、インクレチン関連薬使用中のシックディについては、GLP-1 製剤の使用開始時に生じる胃腸障害及び急性膵炎に特に留意した。GLP-1 製剤の胃腸障害は、Liraglutide の場合、使用開始後6週間で消失するという報告に基づき、使用開始2カ月未満のシックディ症例は原則受診とし、2カ月以上使用している症例は、シックディでも通常量の注射を原則とした。

また、後発医薬品の一覧表を作成した。

東北信標準 低血糖・シックディマニュアル 文書一覧

御本人・御家族用

- ① 低血糖説明文書
- ② 糖尿病内服薬一覧
- ③ 昏睡状態になった場合の対処法
- ④ シックデイへの対応
 - (1) 内服治療
 - (2) インスリン治療
 - (3) GLP-1 製剤
 - (4) GLP-1 製剤と SU 剤併用

スタッフ(コメディカル)用

- ① 外来でのシックデイ電話対応マニュアル
- ② 病棟用低血糖時の標準処置チャート

スタッフ(当直医)用

- ① 入院時のシックデイ対応マニュアル
- ② 救急外来用低血糖時の標準処置チャート

東北信標準 低血糖・シックディマニュアルを使用する際の注意

- ・当マニュアルの著作権は「東北信地域糖尿病療養指導士育成会」が保有します。
- ・当マニュアルを印刷および利用することは自由ですが、許可なく転載、改変等を行うことは禁止致します。
- ・自施設の実情に合うように改変したいなどの要望があれば、「L-CDE の広場」にご所属を明記の上御連絡下さい。

2012年6月22日

東北信地域糖尿病療養指導士育成会

東北信標準 低血糖・シックディマニュアル 作成責任者 大橋正明